

教科(科目)	芸術（美術Ⅰ）	単位数	2単位	学年	1学年(選択必修)
使用教科書	日本文教出版「高校生の美術1」				
副教材等	なし				

1 学習目標

- ・ 美術の幅広い創作活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ・ 表現、鑑賞ともに基礎的・基本的技能の定着をはかる。
- ・ 楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を育てる。
- ・ 対象の造形的なよさや美しさを感じ取り、美意識を高める。

3 学習計画

月	単元名	題材・教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	○デッサン	鉛筆デッサン	観察力を養いデッサンの基礎を学び、描写の技能を高める。	11	授業の取組 作品
5					
6	○色彩学	カラーワーク	色の要素や12色相環、配色について理解する。	11	授業の取組 作品
7					
8	○平面デザイン	平面構成	色彩、形態など造形要素の働きを理解し、それらを効果的に生かして美しく構成する力をつける。	21	授業の取組 作品
9					
10					
11	○鑑賞	教科書、生徒作品	作者の心情や意図、表現の工夫などについて理解を深める。	6	授業の取組 提出物
12	○立体デザイン	クラフトデザイン	木製のスプーン制作を通して、立体物をデザインする際のポイントを理解し、機能性や素材を生かすデザインについて学ぶ。	21	授業の取組 作品
1					
2					
3					

計 70時間 (50分授業)

4 課題・提出物等

- ・ 各題材ごとに制作した作品を指定した期日までに提出する。
- ・ 題材によっては、作品の他に練習課題等の提出もある。
- ・ 夏季休業中の課題は別途指示する。(風景スケッチ等)

5 評価規準と評価方法

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の表現や鑑賞の創造活動に対し自ら意欲的に取り組もうとしている。	テーマを理解し、感性や想像力を働かせて、表現を工夫し構想している。	創造的な美術表現をするための効果的な技法を身につけている。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わうことができる。

以上の観点を踏まえ、授業の取組（授業態度、学習活動への参加状況）、提出物（作品、レポート等）の内容から総合的に評価します。

6 担当者からの一言

私たちは、美術と日常生活の中で無意識のうちに大きく関わっています。
作品制作を通して自ら考え、工夫する力を養ってください。